

2022/10/15 (Sat) ▶ 11/13 (Sun)

1. 社会実験実施概要



交通検証等に伴う空間利活用社会実験「御堂筋チャレンジ2022」の実施概要

- 実施時期：2022年10月15日（土）～11月13日（日）
- 実施場所：御堂筋・新橋交差点～難波西口交差点の沿道（約1kmの区間）
- 実施主体：NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会 / （一社）ミナミ御堂筋の会（大阪市指定・道路協力団体） / 大阪市建設局

【3期整備区間】今後の整備へ影響検証＋道路協力団体による利活用の検証

10月の側道閉鎖に伴う交通環境の影響検証等とあわせて、道路協力団体として将来の利活用の検証を官民連携で行い、今後の整備や利活用のあり方へ反映する。

（御堂筋線谷交差点～御堂筋清水町交差点区間【3期北】）

- ・ほこみちエリアの滞留・にぎわい創出
- ・違法駐輪対策
- ・夜間等の安全対策

御堂筋・長堀21世紀の会

（御堂筋周防町交差点～道頓堀橋北詰交差点区間【3期南】）

- ・ほこみちエリアの滞留・にぎわい創出
- ・周辺商店街への誘導・情報案内
- ・違法駐輪対策

ミナミ御堂筋の会



【2期整備区間以南】2021踏まえたベンチ等の検証と、御堂筋等と連動した回遊性創出等への検証

（2期整備区間以南）

2021の社会実験の成果を踏まえ、道路空間再編工事完成とともにベンチ等の検証を行い、継続した管理運営方策へとつなげる。

- ・滞在空間の創出（ベンチ等の設置）
- ・東西商店街への誘導（サイン等の設置）

ミナミ御堂筋の会

（東西通りとの連携）

過去の社会実験の成果を踏まえ、御堂筋・広場とも連携した東西方向への回遊の創出や放置自転車対策などを地域と連携して実施し、その効果をデータ取得等を通じて整備後の効果を検証する。

- ・南地中筋商店街実施のイベント等との連携
- ・カフェストリートでのオープンカフェ実施
- ・放置自転車対策等、面での適正化の実施



官民連携による社会実験「御堂筋チャレンジ」の実施経過

<p>第1弾：2017 モデル区間整備・御堂筋完成80周年をきっかけに、将来の魅力ある滞在空間を可視化</p>	<p>第2弾：2020 歩行者利便増進道路指定を念頭に区域指定・整備の検証と、道路協力団体による継続利活用の実験</p>	<p>第3弾：2021 道路協力団体による利活用拡大と、周辺・なんば駅前広場とも連携した歩行者回遊データの検証</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・モデル区間完成（2016） ・御堂筋80周年記念事業（2017） ・御堂筋将来ビジョン策定（2018） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大（2020～） ・道路協力団体指定（2020） ・2期区間整備開始（2020） 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者利便増進道路指定（2021） ・東京オリンピック・パラリンピック開催（2021） ・2期区間整備、完成（2022）

4回目の社会実験「御堂筋チャレンジ2022」のねらい

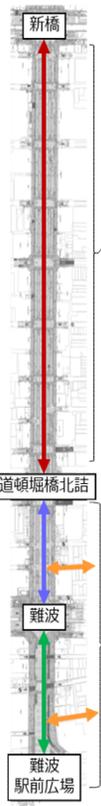
<p>ねらい① 整備後の管理運営スキーム</p> <p>＜過去社会実験の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道路空間の適正化に向けた活動（放置自転車対策）と検証 ●ベンチ・歩車分離サインの設置・検証 ●植栽の設置や維持管理の試行 ●維持管理のための財源確保の試行 	<p>ねらい② 道路空間の利活用形態</p> <p>＜過去社会実験の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道路協力団体による多様な道路空間の利活用（オープンカフェ、ベンチ、案内板、モビリティハブ ほか） ●AIカメラなど最新技術の導入 ●利活用プレイヤーの発掘 	<p>ねらい③ エリア回遊創出・連携</p> <p>＜過去社会実験の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●面での回遊効果のデータの取得、検証 ●東西通りとの連携（オープンカフェによる回遊、環境改善） ●地域・商店街との連携、産官学民での回遊性創出研究
<p>2022社会実験のテーマ 2025めざして「御堂筋」のシクミをつくる社会実験</p>		
<p>将来のシクミ① 道路管理運営の新たなシクミをつくる ⇒道路協力団体制度活用</p>	<p>将来のシクミ② 多様かつ持続性ある利活用を実現するシクミをつくる ⇒ほこみち制度活用</p>	<p>将来のシクミ③ 産官学民が一丸となってエリア回遊創出・連携に取り組むシクミをつくる</p>

2025大阪・関西万博
3期区間完成/なんば駅前広場完成/
万博関連事業/ほこみち本格活用など

3期整備区間

2期整備区間

モデル整備区間

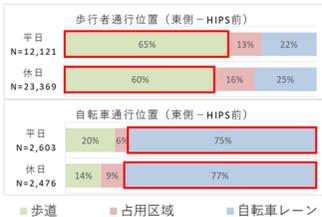


2022/10/15 (Sat) ▶ 11/13 (Sun)

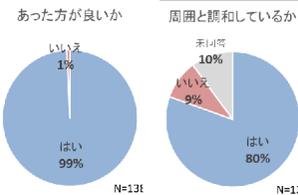
2. (1) 検証結果（整備後の管理運営スキーム・道路空間の利活用形態）

【2期整備区間以南】

◆ ベンチ・サインの最終形をめざした検証



▲ 端部にベンチ・サインを置くことで、歩車分離、整流効果を確認



▲ 利用者からのベンチの評価は高く、
▲ 利用されている割合も高い



◀ 利用者からの評価が高い一方で、設置したベンチ周辺にはごみのポイ捨てが多発

▲ 注意喚起により、一定の効果は認められたが、引き続き対策が必要

整流化効果



歩行者が多い時間帯の通行状況



ベンチ周りではごみの問題も発生

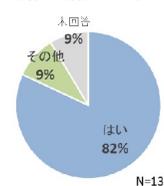
▶ ベンチ設置の方針

- ✓ 自歩の整流化・車止めを行うとともに、休憩滞在機能を兼ねる施設としてベンチを設置
- ✓ 歩行者の通行安全性・快適性を損なうことがないよう設置

◆ 植栽の維持管理スキームの検証



周囲と調和しているか



【利用者の声】

- きれい、かわいい
- 緑がいっぱいあってきれい
- おしゃれな街のイメージで良い

▲ 利用者の花壇の取り組みに対する評価は高い



◀ ベンチ同様に、ごみのポイ捨ては依然として見られる



▲ 実験終了後も、継続も、ごみの問題、踏み荒らし、看板の破損などが発生
⇒ 管理コスト増加

▶ 花壇に対する評価は高く、スポンサードの仕組みや官民の役割分担（維持管理）について、引き続き検討

【3期整備区間】

◆ 固定ベンチの設置に関する検証



▲ いずれのタイプもよく利用されており、特にL字型は可動式のイス・テーブルとの組合せによる利用が見られた



◀ 一方で、ごみやスकेボーによる破損など、管理上の問題が見られた

◆ 植栽に関する検証



◀ 花壇整備に対する利用者の評価は高いが、引き続き生育状況の把握や、ベンチ同様にごみの対策などが必要

▶ ベンチ・植栽については、2期整備区間の知見も踏まえ、ベンチの形状・素材や、植栽の維持管理の仕組みの構築などについて、引き続き検討

◆ 活用内容が大阪のメインストリートとしてふさわしいか

■ キッチンカーやテントでの飲食・物販等によるにぎわいづくり



◀ キッチンカーやテントでの飲食・販売はにぎわいの創出に寄与

・一方で、出店者の選定のあり方や御堂筋にふさわしいクオリティの確保（ブランディングの問題：唐揚げがふさわしいか等）が課題

■ 上質な空間形成に繋がる造作物の検証



◀ アートや植栽は観光客による写真の撮影に加え、SNSでの投稿等も見られた



▶ 御堂筋にふさわしいクオリティを確保するためのブランディングの設定、アート等の設置に向けたコンセプトの周辺ブランドとの協力・連携、回遊のコンセプトをより深めた企画への展開、認知に繋がるような告知や継続的な実施など、沿道との協力による管理・運営の仕組みづくりについて、引き続き検討

■ アメリカ村の会と連携したイベントの実施



◀ BIG STEPでイベントを行うよりも売上がかなり小さかった

・一方で、それぞれの店舗がエリアの将来を考えてくれるきっかけになったのではないかと考えられる

■ 沿道事業者と協力した可動式家具の運用等による滞留空間の創出



◀ イスやベンチは効果的で、有意義に使ってもらえた

沿道の適正化に向けた取り組み（一部）



▲ 放置駐輪の多いエリアへの啓発看板の設置



▲ 道路協力団体による合同啓発活動



◀ 産官学連携による清掃

IoTトングを活用しごみの状況を可視化



2022/10/15 (Sat) ▶ 11/13 (Sun)

2. (2) 検証結果 (エリア回遊創出・連携)

取組① 御堂筋の滞在空間本格整備 ～回遊が広がったか？～

○御堂筋上滞在空間整備



通行者が増えたか？

- ・チャレンジ期間中、御堂筋の通行者数が増加
- ・なんば駅から御堂筋沿いの通行者が増加

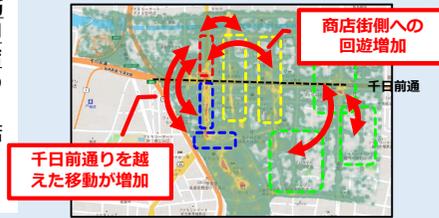
▼期間中滞在者分布 (携帯GPSデータ)



御堂筋から周辺への回遊が広がったか、どこに広がったか？

- ・なんば駅から御堂筋への動きに加え、御堂筋から戎橋筋商店街・千日前商店街の回遊が増加
- ・道頓堀と戎橋筋商店街の回遊も増

▼回遊パターン変化分析結果 (携帯GPSデータ)



- 整備により通行者、周辺エリアへの回遊を促進
- ⇒滞在空間整備や東西連携は、回遊を促す上で効果的

今後の方向

- ① 滞在空間整備
 - ✓ 駅前広場・御堂筋の効果的
空間活用
- ② 御堂筋よこみち連携
 - ✓ よこみちのポテンシャルを活かす連携
取組の強化
 - ✓ 地域の課題と連動させた展開

取組② 東西道路での取り組み (南地中筋・カフェストリート) ～東西の動きが創出されたか？～

○東西道路のイベント・空間活用



東西道路の通行が増えたか？

- ・実験前に比べて通行者数・滞在時間が増加傾向

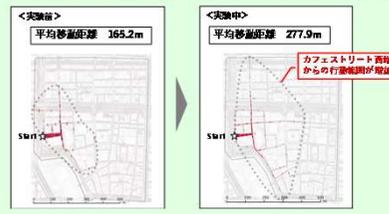
▼南地中筋の来訪者数の変化 (携帯GPSデータ)



滞在や回遊の広がりがあったか？

- ・期間中、店や情報を見る行為、会話等が増加
- ・来訪者の移動距離の増加もみられた

▼カフェストリート通行者行動範囲の変化 (現地調査)



- 東西への流れを促進し、立ち寄り等も誘発
- ⇒エリア回遊には、東西との連携が重要

取組③ エリア回遊施策 (リバフェス・デジタルスタンプラリー) ～エリアの動きは広がったか？～

○エリア回遊イベントの実施



道頓堀リバーフェスティバルで回遊がされたか？

- ・なんば駅前広場を中心に、イベントエリアの来訪者が増加
- ・特に、遠方からの来訪者が増加
- ・スタンプラリーも周辺各箇所の回遊を促進

▼会場の来訪状況変化 (携帯GPSデータ)



エリアをまたいだ回遊は広がったか？

- ・エリア全体でも滞在者・滞在時間が増加
- ・普段滞在者が少ないエリアへの回遊を促進

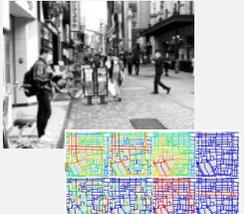
▼周辺エリアの滞在状況の変化 (携帯GPSデータ)



- イベントで、来訪者・滞在時間が拡大
- ⇒分散型イベントで、周辺エリアも含めた活性化可能

取組④ ネットワークの現状・課題把握 ～エリア全体で動きを作るための、課題・ポテンシャルは？～

○ネットワーク分析



全体の利用状況の把握

- ・歩行者は、御堂筋・戎橋筋に集まる
- ・東西通りや、東側に入ったエリアでは、通行者が少ない箇所が多い

▼各街路の通行者数



エリア全体のネットワーク課題の分析

- ・現在通行が多い箇所からの回遊を広げる上で、御堂筋東側よこみちや、千日前通、ウラなんば等がポイント

▼ネットワーク分析による課題箇所抽出



- 御堂筋東側のよこみち等が、ポイント
- ⇒これを踏まえ、上記の各取組を戦略的に展開

- ④ 体制構築
 - ✓ 地域・地元との連携強化、共創
 - ✓ 官民学による検討体制づくり